

いま、日本の学校はどうなっているのか — 文科省よ現場のリアルを聴け！ —

令和5年 **6月29日** (木)
18:00 - 20:00 (開場 17:40)

講師 安達 弘
(元横浜市公立小学校教諭)

参加費 1,000円

会場 **文京区民センター**
2階 A会議室
東京都文京区本郷4-15-14

【講演要旨】

- (1) 4つのテーマで現場を見る。
テーマ① 学校と放課後・・・何もかもが持ち込まれる
テーマ② 学校と情報・・・不要な緊張と無駄な書類
テーマ③ 学校といじめ・・・学校ができることの限界
テーマ④ 学校と医療・・・教育を超えたスキルの必要
- (2) 4つの記事で現場を見る ①給食事故 ②熱中症事故 ③外国籍児童対応 ④新任者対応
- (3) 8つの現場の声を聞く 多忙化解消？の夢物語に絶望する現場 同僚へのインタビューから
- (4) 私論 学校はどう変わればいいのか・・・その第一歩としての5つの提案



今や多くの人々が薄々知ようになってはいるが、日本の学校現場は限りなく「ブラック産業化」しつつある。しかし、その現実の厳しさは一般の人々に伝わっていない。現場教師はそれを歯痒く思っているが、それも今やあきらめの境地に近づいている。いくつかの改革案や提言が出されているものの、識者のコメントの多くは、教育現場の実態と乖離した空論だったり、かえって現状をさらに悪化させるものとなっていたりする。このままでは、教職の志望者はますます減り続け、日本の教育界の総合力は大きく落込んでいく危険がある。

安達弘氏は、最近まで勤めた公立小学校教諭としての豊富な経験に基づく独自の分析によって、今の学校の現実がどうなっており、どういう解決策こそがポイントを突いているのかを分かりやすく伝えることのできる貴重な存在である。安達氏の話聞いて、日本の学校が再生するための有効な方策を一緒に考えましょう！（藤岡信勝・記）

講師プロフィール

安達 弘（あだち・ひろし）先生

昭和36（1961）年生まれ。横浜市で公立小学校教員として勤務。楽しくわかりやすい授業づくりと歴史人物学習の教材開発などに取り組む。元自由主義史観研究会理事。現在はNPO法人歴史人物学習館理事。
〔著書〕『歴史人物になってみる日本史』（高木書房）、『人物学習でつくる歴史授業 近現代史のキーパーソンをこう取り上げる』（明治図書）。共著に『教科書が教えない歴史』1～4巻（産経新聞社）、『国境の島を発見した日本人の物語』（祥伝社）などがある。

講演会への事前のお申し込みは不要です。お問い合わせはお電話、ファックスまたはメールにて下記まで

新しい歴史教科書をつくる会／同東京支部（共催）

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-203

TEL: 03-6912-0047 FAX: 03-6912-0048 MAIL: konshin@tsukurukai.com